

別添1 (介護ロボット用)

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人西春日井福祉会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム平安の里)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

適用を受けた補助率	3/4			1/2
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名			
移乗サポートロボット	HugT1/T1-02			
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間	
令和4年2月25日	2台	令和4年2月25日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで	
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>特養2ユニットに各1台導入。 (T様男性80代 要介護5 認知症自立度M)</p> <p>導入前…基本的に支持が入りにくいため、移乗介助時に2人介助を行うが身体に力が入り、職員の負担が大きく立位保持も難しくトイレでの排泄介助が困難な時があった。 導入後…介護ロボットを使用して、立位保持が容易になり、トイレでの排泄が以前よりスムーズに行えるようになった。</p> <p>(M様女性90代 要介護5 認知症自立度Ⅲa)</p> <p>導入前…排泄の訴えが多くある方であり、その都度2人介助にてトイレ誘導を実施して、排泄を行っていたため、職員の負担が大きかった。また介助後に、皮下出血や皮膚剥離もまれに発生することがあった。 導入後…移乗介助及び排泄介助に使用して、本人、職員の負担軽減につながり安心して介助に身を任すことをしていただけるようになった。</p>				
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>(介護時間の短縮、直接・間接の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等)</p> <p>当施設はユニット型特養であるため、時間帯によっては他職員に応援要請をしなくてはならなかったが、導入を経緯に応援要請をすることが少なくなった。 そのため、他ユニットを空ける心配もなくなり、転倒等のヒヤリハットや事故の軽減にもつながった。</p>				

別添1 (介護ロボット用)

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (医療法人 樺会)
 事業所名 (老人保健施設 満天星)
 サービス種別 (介護老人保健施設)

適用を受けた補助率		3 / 4 ・ 1 / 2	
介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
移乗介助		イノフィス マッスルスーツ Every	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和3年10月26日	4台	令和3年10月11日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・納入時、職員一人一人に対し、使用上の注意、説明を行う。 ・主に夜間帯での使用を予想し、3階(重度の方が多いフロアー)へ設置し、現状、夜間帯でのオムツ交換時に使用。 			
<p>【介護ロボットの導入効果】 (介護時間の短縮、直接・間接の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前のめり姿勢や中腰で行うオムツ交換や体位変換での使用時、腰への負担はかなり軽減している様子。 ・精神的な安心感を訴える声も聞かれる。 			

(注)

・導入する介護ロボットごとに作成すること。

※これより下は、補助率「3 / 4」の適用を受けた場合のみ記入すること

別添1 (介護ロボット用)

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (医療法人 清水会)
 事業所名 (まこと老人保健施設)
 サービス種別 (介護老人保健施設)

適用を受けた補助率	3 / 4 ・ 1 / 2		
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
移乗・排泄介助等支援	マッスルスーツ Every		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和3年12月13日	4台	令和3年12月13日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

- ・納入後、ICT、介護ロボット導入委員会で使用方法（職員へのアンケート実施）や注意点の検討、マニュアルを作成
- ・ユニットリーダーを集めて体験会、使用方法を確認
- ・ユニットリーダーから他職員へ使用方法を伝授
- ・フロア用、入浴介助用を2台ずつ（S～M、M～L）設置
- ・主に日勤、夜勤の排泄介助、入浴介助時に使用している

【介護ロボットの導入効果】

- (介護時間の短縮、直接・間接の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等)
- ・使用開始より間もないので介護時間の短縮につながっているかは不明である(使用1年程度後に分析予定)
 - ・使用することで作業時の腰への負担は軽減している(日常的に腰痛がある職員の方が大きく効果を実感しており、満足度が高い)

(注)

- ・導入する介護ロボットごとに作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 ((福)恩賜財団愛知県同胞援護会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム第2とよた苑)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

適用を受けた補助率		3 / 4 ・ 1 / 2	
介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
移乗介助		ロボヘルパー SASUKE	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和4年1月1日	2台	令和3年12月7日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>12月7日に納品。12月中に販売会社の実技説明会、販売会社作成の使用方法のYouTube動画の視聴、その後実際に一人一人が実技訓練を行い、安全に使用できる方法を周知した。</p> <p>現在は</p> <p>2Fユニット 介護度5 男性 身長が高く座位保持が難しい方 4Fユニット 介護度5 女性 足の拘縮強く立位保持が難しい方 2名に、ベッドと車椅子間の移乗を主に使用中。</p> <p>今後は、一人1枚の専用シートが必要なため、使用が必要と思われる入居者の人数把握を行っていく。</p> <p>※1/24にコロナ陽性者1名発生後施設クラスター認定。 3月に入っても職員の陽性者発生や、入居者熱発等により計画通りに進んでいないのが現状。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>(介護時間の短縮、直接・間接の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移乗時の入居者及び、職員の体への負担が軽減された。 ・安全に移乗ができ、入居者及び職員の不安が軽減された。 ・つり上げ式の移乗ロボットは、通常、シートを敷いたり抜いたりする工程があり、体への負担は軽減するが、時間や手間がかかる事がデメリットとなっていたが、サスケは一人1枚の専用シートでその手間もかからず好評である。 ・体を動かすと痛みを訴える入居者でも、サスケでの移乗は痛みを訴えない。 			

(注)

・導入する介護ロボットごとに作成すること。

別添1 (介護ロボット用)

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人カリヨン福祉会)
 事業所名 (グループホームカリヨンの郷「新千秋」)
 サービス種別 (認知症対応型共同生活介護)

適用を受けた補助率	3 / 4 ・ 1 / 2		
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
移乗介助	マッスルスーツ Every ソフトフィット		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和3年11月1日	2台	令和3年10月31日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

- ・職員に対し、説明会と体験会を実施。
- ・各フロアにて労働強度が高い夜勤勤務者から、オムツ交換時の排泄介助及び体位交換から徐々に使用を進める。

【介護ロボットの導入効果】

(介護時間の短縮、直接・間接の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等)

- ・オムツ交換で前かがみになる時に、マッスルスーツによって姿勢が補助されていることを感じ、腰痛の原因の1つである疲労蓄積の軽減を実感できた。
- ・姿勢補助の動力源となる空気の充填も容易であり、操作はしやすいと感じた。

(注)

別添1 (介護ロボット用)

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (株式会社リブラン)

事業所名 (デイサービス花桃)

サービス種別 (地域密着型通所介護)

適用を受けた補助率		3 / 4 ・ 1 / 2	
介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
移乗支援		イノフィス マッスルスーツ Every	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和3年10月20日	4台	令和3年10月20日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】 車椅子からの移乗時に使用</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】 (介護時間の短縮、直接・間接の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等) 車椅子からの移乗時に職員の腰の負担軽減、二人介助している利用者様が一人介助できる様になった方もおり時間短縮出来るようになりました 今までトイレ介助が難しい方のトイレ介助が出来るようになった方もおり、利用者様の排便管理が出来やすくなっております</p>			

(注)

・導入する介護ロボットごとに作成すること。

別添1 (介護ロボット用)

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (丹羽商株式会社)

事業所名 (ピュアスタイル訪問介護事業所)

サービス種別 (訪問介護)

適用を受けた補助率	3 / 4 ・ 1 / 2		
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
移乗介護	Hug (移乗サポートロボット) MODEL T1-02		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和4年2月22日	1	令和4年2月22日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
【介護ロボットの使用状況】 有料老人ホームの入居されている要介護者の移乗動作のサポートとして使用している車椅子とベッドの間、車椅子とシャワーキャリーの間の移乗介助を実施する。介護職員の負担を軽減することで腰痛を引き起こすリスクを減らしている。			
【介護ロボットの導入効果】 (介護時間の短縮、直接・間接の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等)			
<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍において密着せずに移乗できる面では、利用者様の満足度は高い ・ 介護職員の移乗介助時の腰痛の軽減及び腰痛による離職の防止につながっている ・ 介護負担の軽減により安心して長く働ける職場環境が出来ている ・ 余裕をもって介助できるため、移乗時の事故発生は減っている ・ 介護職員の移乗時対応人数を減らすことが出来て、ほかのケアの充実化につながった 			

(注)

・ 導入する介護ロボットごとに作成すること。

別添1 (介護ロボット用)

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会医療法人 大雄会)

事業所名 (老人保健施設 アウン)

サービス種別 (介護老人保健施設)

適用を受けた補助率	3 / 4 ・ 1 / 2		
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
移乗介護	移乗サポートロボット Hug T1-02		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和3年12月8日	2台 /	令和3年12月8日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

Hug 2台を、入所フロア内のベッドから車いす間の移乗、車いすからトイレ間への移乗、入浴時の車いすからシャワーチェア間等の移乗介助時に使用。

《対象者ご利用者》

- ・ 移乗介助において2人体制での介助が必要な利用者
- ・ 端座位可能な利用者
- ・ 職員からの指示理解が可能な利用者
- ・ 麻痺等により肩関節の可動域制限が無い利用者。

導入から現在までに、6名の利用者に適用。

【介護ロボットの導入効果】

(介護時間の短縮、直接・間接の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等)

- ・ 介護時間の短縮。
移乗介助にスタッフ2人体制での介助を要していた利用者に対して、スタッフ1人体制に移行できたことで、もう1人は別の利用者の対応が可能となった。
- ・ 利用者に対する負担軽減
Hugの使用にて、移乗介助時の外傷はゼロになった。
- ・ 利用者の満足度の向上
利用者が、立位保持可能となり、「立てる事に対する喜び」を感じている様子が、Hugを使用した際に顔が上向きとなり、表情が明るいことがうかがえた。
- ・ 介護従事者の負担軽減
職員対象に2022年3月に腰痛予防対策チェックリスト(中央労働災害防止協会)を実施。結果、腰痛を起因とした4日以上以上の休暇を必要とした職員はいなかった。
ただし、元々持病として腰痛がある職員の腰痛軽減には至っていない。

(注)

- ・ 導入する介護ロボットごとに作成すること。

※これより下は、補助率「3/4」の適用を受けた場合のみ記入すること

① 従前の介護職員等の人員体制	② 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制
2:1	1:1
③ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制	
1:1	
②と③が異なる場合はその理由	
見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトを活用した人員体制の効率化のために実施した具体的な取組	
<p>【インカムについて】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 業者にインカムの使用方法について説明会を開催。 ② その日の業務従事者が使用。 ③ 利用者のナースコールに対してスタッフが重複しないように連絡しあった。 ④ 電話取次ぎの際やその他職員間におけるスタッフ間の呼び出しに使用 ⑤ 入浴誘導時、利用者衣類等の不足品を他階スタッフに依頼する時に使用。 ⑥ 介護職が看護職に利用者の情報伝達・確認する際に使用。 ⑦ スタッフの業務開始及び終了時の連絡により、スタッフの所在確認に使用。 <p>【aams について】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①業者による使用方法についての説明会を2回開催。 ②フロア内にて伝達講習を実施。 ③導入6台のうち、5名に使用。(現在は、3名に使用中。) <p>現状の3名については、生体情報収集・確認、離床センサーとして使用している。 この情報は、他階とも情報共有。</p>	
利用者のケアの質の向上や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減のために実施した具体的な取組	
<p>【Hug の使用について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業者による Hug の使用方法・対象者の選択について講習会を開催。その後、各フロア内で伝達講習を実施。またリハビリと連携して移乗介助方法のフローチャートを作成。 その後、対象者の選定を実施。 ・排泄・入浴・ベッドと車いす間等の移乗介助場面にて一人介助で使用。 ・利用者の喜びや生活の意欲向上につなげるために、立位移乗時に使用。 <p>【インカムの使用について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の情報の共有スピードが速くなり、対応が早くなったことによって、利用者をお待たせする時間が短縮できた。 ・業務に入る際、休憩時間の取得時に責任者を探さず、インカムを使用し速やかに休憩に入るようになった。 	

【aams の使用について】

- ・利用者の生体情報・離床センサー作動情報の共有により、利用者の状態変化の早期対応が可能となった。

これらの取組による改善状況又は今後改善が期待できること

【Hug について】

- ・今後、使用対象利用者や使用場面の拡大を行う。
(例：リハビリ場面で立位訓練として使用する等。)
利用者の ADL 向上、スタッフの介助量軽減・腰痛予防に繋がると考える。

【インカムについて】

- ・利用者の情報共有を迅速に行え、対応が早くなり、利用者をお待たせする事により発生する精神面の不安や苦情発生リスクの軽減に繋がると考える。

【aams について】

- ・利用者の生体情報および離床センサー作動情報、夜間の睡眠・覚醒状況を職員間で共有することにより、入所フロア全体でのスタッフの相互協力体制の確立が期待できる。
- ・夜勤帯の訪室回数の減少により、職員の休憩時間の確保ができる。
- ・利用者の生体情報を把握することで、精神的負担軽減になる。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人愛知育児院)
 事業所名 (特別養護老人ホーム南山の郷)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

適用を受けた補助率		3 / 4 ・ 1 / 2	
介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
移乗介護		移乗サポートロボット ハグ T1-02	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和3年12月15日	1台	令和3年12月15日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>・二人介助でのトイレ誘導が困難だった方に使用。また、車椅子、ベッド間の移乗にも活用できている。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】 (介護時間の短縮、直接・間接の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等)</p> <p>・介助される側のご利用者の負担軽減と、介助する職員の負担軽減および腰痛予防になっている。また、お互いの負担が軽減され姿勢も安定することで安全な介助ができる。</p>			

別添1 (介護ロボット用)

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 華陽会)
 事業所名 (サービスネットワーク南陽)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

(注)

適用を受けた補助率		3 / 4		1 / 2	
介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名			
移乗介助機器 (非設置型)		離床アシストベッド リショナー PLUS			
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間		
令和3年11月5日	2	令和3年11月17日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで		
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>① 体格がよく体重の重い要介護5の入所者を対象にしている。 ベッドから車いすの移乗介助において職員二人で抱え上げを行っていたが、抱え上げの際の負荷によって内出血や表皮剥離が発生していた方。</p> <p>② 全身の関節拘縮がある要介護5の入所者を対象にしている。 ベッドから車いすの移乗介助において職員二人でバスタオルを使用していたが、抱え上げの際の負荷によって内出血や表皮剥離が発生していた方。</p>					
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>(介護時間の短縮、直接・間接の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等)</p> <p>令和2年度に離床アシストベッド リショナー PLUS を2台導入し、利用者の安全確保、職員の負担軽減等の成果を得ることができたため、他に上記の使用状況のような課題を抱える利用者に対して設置することができた。</p> <p>導入後移乗介助を起因とする内出血や皮膚剥離は発生しておらず、利用者の安全、安心と職員の精神的、身体的な負担の軽減につながっている。また、これまでふたりで行っていた介助がひとりで行えるようになり、作業効率が上がっている。これまで臥床時間が長かった利用者の生活スケジュールを見直し、共有スペースで他者と過ごす機会を増やすことができた。</p>					

・導入する介護ロボットごとに作成すること。

※これより下は、補助率「3 / 4」の適用を受けた場合のみ記入すること

① 従前の介護職員等の人員体制	② 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制
2. 56 : 1	2. 5 : 1
③ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制	
2. 5 : 1	
②と③が異なる場合はその理由	
見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトを活用した人員体制の効率化のために実施した具体的な取組	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 移乗の2人介助を一人介助とすることが可能となり、職員のマンパワー不足を軽減した。 	
利用者のケアの質の向上や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減のために実施した具体的な取組	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の移乗介助時に生じる身体的・精神的負担軽減、活動性の向上。 ・ 利用者の移乗介助時に生じる負担や外傷（内出血や表皮剥離）等のリスク軽減。 ・ 職員の移乗介助時に生じる身体的・精神的負担軽減及び腰痛予防 ・ 吊り上げリフトを身体的理由で使用できない方への対応ができ、利用者QOLの拡大。 	
これらの取組による改善状況又は今後改善が期待できること	
<ul style="list-style-type: none"> ・ ノーリフトケアの推進によるリクルート活動。 ・ 移乗介助の身体的・精神的な負担を軽減し、腰痛に伴う業務内容の限定、休職・離職の低減。 	

別添1 (介護ロボット用)

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (医療法人 瑞頌会)
 事業所名 (介護老人保健施設かにえ)
 サービス種別 (介護老人保健施設)

適用を受けた補助率	3 / 4 ・ 1 / 2		
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
移乗介助	マッスルスーツ Every ソフトフィット		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和3年11月1日	1台	令和3年11月1日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

入所利用者の車いすへの移乗時、排せつ介助、体位変換のケアを行うときに、職員の腰痛予防、利用者の心身をまもる為のケアを目的に導入し、半年程度使用している。
 導入初期の為、使用する職員及び利用者を限定し、安全に使用できるか検証しながら使用している。

【介護ロボットの導入効果】

(介護時間の短縮、直接・間接の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等)

導入の効果

介護時間の短縮については、マッスルスーツの活用に慣れていない為、時間短縮までとはいっていない

慣れてきた職員からは、腰への負担が減っていると評価はあるが、慣れていない職員からは、加圧、減圧の手間がかかり余計に作業時間がかかる事もあるが、継続して活用する事で慣れていく必要はあると思う

現状では1台しか導入していない為、慣れるまでに時間がかかる

(注)

・導入する介護ロボットごとに作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 絆)
 事業所名 (特別養護老人ホーム愛の里名古屋東)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

適用を受けた補助率		3/4 ・ 1/2	
介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
移乗アシスト		移乗アシスト SASUKE	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和4年3月1日	1台	令和4年2月1日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
【介護ロボットの使用状況】			
<p>(1) 使用場所 2階フロアの4ユニットの利用者を主たる対象</p> <p>(2) 活用場面</p> <p>1) 食事、入浴に行くためにリクライニングチェア、ストレッチャー等への移乗時に活用。</p> <p>2) その他、移動の必要な際に活用</p>			
【介護ロボットの導入効果】			
(介護時間の短縮、直接・間接の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等)			
<p>1. 利用者移乗介助時の安全面について</p> <p>(1) 移乗時における利用者本人の不安が軽減され、若干拒否の認められた利用者もスムーズな移乗が実現した。</p> <p>(2) 移乗介護時の介護職員、利用者共に負担、不安が軽減したことにより事故防止にもつながっていることを実感できた。</p> <p>(3) 移乗介助時の介護職員の負担軽減し、腰痛予防にも効果が期待できる。</p> <p>2. 介護職員の業務改善面について</p> <p>(1) 二人介護が必要だった利用者に対して、安全に一人での介護が可能となり、特に夜間帯での他のユニットからの応援も不要となり、大きな業務改善が実現した。</p> <p>(2) 日中においても、他の利用者の見守り時間の確保ができ、転倒等の事故回避にも繋がっていると考えている。</p>			

(注)・導入する介護ロボットごとに作成すること。

※これより下は、補助率「3/4」の適用を受けた場合のみ記入すること

① 従前の介護職員等の人員体制	② 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制
<p>移乗負荷の高い利用者が多い、2階フロア4ユニットに対しては、他のフロアより2ユニットで非常勤1名程度、フロアとして2名程度の加配で対応。</p>	<p>各ユニット、フロアの介護職員の配置状況そのものは、原則変更せず、これまで手薄になりがちとなっていた面をより強化したいと考えた。</p>
③ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制	
<p>各ユニット、フロアの介護職員の配置状況そのものは、原則変更せず、これまで手薄になりがちとなっていた面をより強化</p>	
②と③が異なる場合はその理由	
見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトを活用した人員体制の効率化のために実施した具体的な取組	
<p>現在、介護記録、職員間の申送り、勤務シフト作成等々、すべて紙ベースのため、介護職員の通常業務の中でも記録に要する時間は膨大なものがある。更に報酬改定に伴うLIFE導入は科学的データ管理が必要不可欠な状況であり、当施設としても、効率的な記録、情報共有、科学的データの集積等々システムの構築が必要不可欠と考え、以下の点を中核として導入に向けた検討を進めている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) タブレット等を活用した入居者情報のリアルタイム入力システム 2) 申送り、伝達事項等々、リアルタイムな情報共有システム 3) 入居者情報の一元化と情報共有システム <p>ICT化を進めることで、介護に従事する時間を確保でき、介護サービスの向上を図ると共に効率的な人材配置が可能となると考えている。</p>	
利用者のケアの質の向上や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減のために実施した具体的な取組	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 介護職員の負担軽減の視点 <ol style="list-style-type: none"> (1) 移乗介助時等の腰痛予防或いは、悪化防止 (2) 二人介助を要する場合、機器を活用することで一人介護時における移乗時の負荷の軽減、腰痛予防、悪化に向けた取り組み。 2. 利用者に対する自立支援の視点 <ol style="list-style-type: none"> (1) 利用者の意向を確認し、利用者のリズムに合わせた介護への取り組み。 (2) 食事やレクリエーション等々の様々な場面での活用。 	
これらの取組による改善状況又は今後改善が期待できること	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 介護職員の負担軽減の視点 <ol style="list-style-type: none"> (1) 移乗介助時等の腰痛予防或いは、悪化防止 (2) 腰痛を起因とする欠勤、休職等を防止し、現場の介護人材の減少を防止する (3) 二人介助を要する場合、機器を活用することで一人介護が実現し、介護人材の効率的配置に繋がり業務改善につなげられる。 (4) 介護職員の負担軽減、腰痛予防を聞かせることで、移乗時における安全性向上につながる。 (5) 移乗時のリスク軽減により、利用者介護における余裕を持って、介護の質の向上が期待できる。 2. 利用者に対する自立支援の視点 <ol style="list-style-type: none"> (1) 利用者の意向を確認し、利用者のリズムに合わせることができ、より安楽な介護を実現することができる。 (2) 食事やレクリエーション等々、移乗後の活動にスムーズに移行することができる。 (3) 移乗時における利用者が抱く様々な精神的な葛藤等々の負担を軽減されることで、利用者自身の離床意欲を高めることができる。 <p>離床の機会が増えることで、日常生活の活性化、自立意欲の向上につなげられる。</p> 	

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (foreStone 株式会社)

事業所名 (えんがわへるばー)

サービス種別 (訪問介護)

適用を受けた補助率		3 / 4 ・ 1 / 2	
介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
移乗介助		マッスルスーツ Every ソフトフィット S-M、M-L マッスルスーツ Every タイトフィット S-M	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和3年10月18日	3	令和3年10月18日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>利用者様のベッドから車椅子への移乗 入浴介助</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>(介護時間の短縮、直接・間接の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等)</p> <p>装着時間はかかるが、腰への負担が軽減され、長期的にみると介護者の腰痛が軽減され作業効率の上昇が見込まれる。</p>			

(注)

・導入する介護ロボットごとに作成すること。

※これより下は、補助率「3/4」の適用を受けた場合のみ記入すること

<p>① 従前の介護職員等の人員体制</p>	<p>② 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制</p>
<p>体重の重い方は男性職員の対応となっていた 従前の人員体制 男性1名、女性3名</p>	<p>どの職員でも対応が可能となる 導入後の人員体制 男女4名</p>
<p>③ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制</p>	
<p>男女4名</p>	
<p>②と③が異なる場合はその理由</p>	
<p>見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトを活用した人員体制の効率化のために実施した具体的な取組</p>	
<p>スマートフォンを導入する。 介護記録をクラウド上で行う事が出来、訪問先で手軽に記録・管理が出来るため、管理者や訪問スタッフの業務効率化が図れる。新たに事務職員を配置する必要がなくなる。</p>	
<p>利用者のケアの質の向上や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減のために実施した具体的な取組</p>	
<p>利用者様に安心して移乗ができる。移乗の回数を減らすことで腰痛を防止し、介護の入る人を選ぶ必要がないためシフトが組みやすくなる。</p>	
<p>これらの取組による改善状況又は今後改善が期待できること</p>	
<p>利用者様の満足度の向上や、介護者の腰痛防止、業務の円滑化を図ることができ負担軽減に繋がる。</p>	

別添1 (介護ロボット用)

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (医療法人信愛会)
 事業所名 (介護老人保健施設おとわの杜)
 サービス種別 (介護老人保健施設)

適用を受けた補助率		3 / 4 ・ ① / ②	
介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
移乗介助		HAL腰タイプ介護・自立支援用	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和3年12月1日	1台	令和3年12月1日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>・夜勤帯で夜勤の職員が、多人数のオムツ交換や寝起きの移乗介助をする時に使用している。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>(介護時間の短縮、直接・間接の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等)</p> <p>・介助での使用</p> <p>装着することによって、職員の腰への負担軽減に繋がっている。特に、寝起きの介助、移乗の介助時は職員の腰部への負担がかかるため、使用することでの腰痛予防に効果的と感じている。ただ、オムツ交換時には、職員が屈む事でHALによるアシストが入ってしまうため、使い方の検討が必要かと思われる。</p> <p>また、少ない人数での介助が可能となることで、マンパワー不足の改善や業務省力化を期待できる。</p> <p>腰痛予防の効果はあるが、装着時間や移動時間は逆に時間が掛かっている。</p>			

(注)

・導入する介護ロボットごとに作成すること。